



(CC) Lorrie McClanahan 2007



(CC) Ashley Dinges 2008

世界は今、女性と男性が
ともに気持ちよく働き生きる
男女共同参画という
人類共通の目的に向かって
走り出しています。

第4回世界女性会議が、男女の『調和のとれたパートナーシップ』の
重要性を謳った北京宣言を採択(1995)

日本政府が、『2020年までに、指導的地位に女性が占める割合が少なくとも
30%程度になるよう期待』する内容の、男女共同参画基本計画を閣議決定(2005)

日本の管理的職業従事者に占める女性の割合 — 10.1% (2005)

日本の衆議院議員に占める女性の割合 — 9.4% (2007)

日本のジェンダー・エンパワーメント指数 — 世界42位 (2006)

ジェンダー・エンパワーメント指数: 女性が政治及び経済活動に参加し、意思決定に参加できているかどうかを測る指数

データは、内閣府男女共同参画局『男女共同参画社会の実現を目指して』(2007年)より抜粋